

# 矢野大和新聞

今年もよろしくおねがいたします



みなさん少し日が経ってしまいましたがあけましておめでとございませう毎年お正月にこの新聞を届けるつもりでしたが、遅くなってしまいました。本当に申し訳ないです。今年も、皆様にとつて本当に良い年であるように心から祈念申し上げます。

昨年は、大変充実した一年になりました。何よりも嬉しかった事は、年四

た。残りは3作目の「続々笑って元気 商売繁盛の口演記」が在庫1700冊となり、これも今年の年末までに完売したいと思っております。私のような者に「本を書け」と言ってくれた出版社に迷惑はかけられませんから、完売を目指します。今年の7月に4冊目の本を書くことも決まりそうです。(あくまで予定ですが...) そうな

百回の口演回数をほぼクリアできたことです。(二百九十二回でした) 次にCDの全国版第2弾が出来た事です。お陰様で初版は売り切れになりました、2刷りになっていきます。もうすぐ3刷りになりそうです。家の光出版社様から出ている著書の「笑って元気」シリーズも1作目と2作目が完売となりました。本当に有りがとうございませう

れば又楽しみが増えます。CDも自主制作した「ピーマンのゆくえ」と「たか君の通学路」が全て完売しましたので、本の出版と併せて7月にバージョンアップしたCDを、ピーマン・たか君の集大成として作る計画です。どうしても「ピーマン」と「たか君」のCDがないのがさみしいもので、しかしネタは少し変えたかと思っております。公開収録させて頂きまので、ぜひ、お出で下さいね。(入場無料・4月7日)

次に「おおいだ観光大使」の仕事です。一昨年暮れから観光大使の仕事をお願いしていて、自分なりにやっているつもりですが、本当に大分の為になっているか分かりません。しかし1月の19日、20日に行われた「笑いと寿司と神楽のツアー」は多くの方々に来て頂きました。二ヶ月間、口演の時に宣伝させて頂きました。おかげで、百三十名の方々が、佐伯で寿司を食べてくれました。

こんな企画が出来たのも、県南落語組合の仲間や、佐伯市観光協会、宇目神楽保存会、佐伯寿司組合、ホテル金水苑さんの御協力があったおかげです。本当に、皆さんありがとうございました。今年も精一杯やります。応援してくださいませ。

友人の会3300人の会  
現在400名突破



第 5 号  
平成 25 年 2 月 1 日  
発行: 矢野大和事務所  
発行責任者: 矢野大和

## 今年の予定

- 1月 大和新聞第5号発行/19日(土)、20日(日)佐伯 寿司と笑いのツアー
  - 2月 11日(月)まんじゅうと落語の会(月刊セー主催)
  - 3月 話し方教室第四期修了式 年度末事務所大掃除
  - 4月 大和新聞第6号発行/7日(日)、NHKスタジオキャンパスにて全国版第三段CD公開収録/12日(金)話し方教室第五期生入学
  - 5月 17日 話し方教室第四回発表会(大分市能楽堂)
  - 7月 CD発売予定/第四冊目の「本」出版 大和新聞第7号発行
  - 8月 第五回、話し方教室発表会
  - 9月 話し方第五期生修了式
  - 10月 話し方第六期生入学 大和新聞第8号発行 三十周年記念、県南寄席、豊の国寄席
  - 11月 話し方教室忘年会と第六回発表会 事務所関係の忘年会
  - 12月
- 茨城県、福島県に行つて、全国を回りたい



今年も目標、4000回の口演

選挙には出ません宣言



事務所を平成二十年一月にスタートし、まる五年がたった。昨年は、過去いちばん口演回数が少なかったが、四百回の目標には、なんとか近づいた。本当にありがたい。さて、今年は七月に参議院選挙がある。六年前、私が立候補して、次点で落選した選挙だ。ありがたいことだが、「矢野さん、また出て闘いましょう！」と言ってくれる方も多くいらつしやる。しかし、この夏の選挙に、私が出ることはない。また今後、政治家の道を選ぶことも、たぶん、ないだろう。

① 選挙にかかるエネルギーは、精神的にも、物質的にも、本当に大変で、普通の人が出られるような体制が、まだ整っていない。

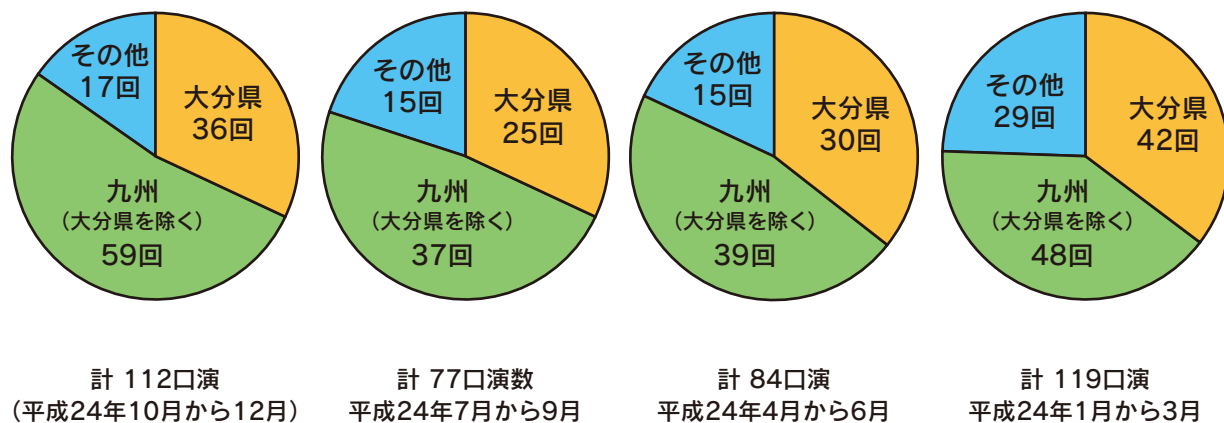
② マスコミに流れる風に、良くも悪くも影響されてしまう。そして、その風のみを信じているような人が多い。

③ 大分は、社民の牙城のような選挙区で、野党が割れてしまうと、与党自民に勝てない、という独特な選挙区である。

以上のような理由から、私が今後、政治家の道を進むことはないと決断し、新年を迎えた。しかし、一生のうち、誰でもが経験できることではない貴重な体験をさせていただいたことに、心から感謝している。六年前は、確かに、国を変えたいと思っていたし、民主党大分県連の推薦を受け（民主党の推薦ではない）、無所属で立候補させてもらった。当選すれば与党であったので、法案の成立や、議案等の可決等、やりがいのあることができたかもしれない。しかし、それは結局、叶わない夢だったのだ。私の友人であり、人生の師匠でもある吉良さんが、今回、落選されたことは、本当に残念でならない。はつきり言つて、この人を国政に送らなかつたことは、日本にとつても大きな損失である。彼のような人物こそが、今の日本にとつて必要であり、与野党問わず、彼を慕う政治家仲間が多かつたと聞く。また、官僚にも信頼が厚く、マスコミ関係者も、義理人情に厚く、律儀な彼の手柄に、惚れ込む方々が多くいたそう。そんな人が落ちてしまふ時代に、私のような者が当選するはずがない。これが、いちばんの理由です。



平成24年1年間の集約



さて、大和新聞を発行依頼1年が経ちました。早いものです。3ヶ月毎の新聞に、私の口演数のグラフを載せて参りましたが、今回は1年間の総計を載せたいと思います。小計で大分県内133口演、九州圏内183口演、その他76口演、総計392口演です。手元の分析表を見ますと大分県が一番多く、次が福岡県、ついで佐賀、山口県と段々に広がっていつているのがわかります。また季節によつて多い、少ないも分かるかと思ひます。7、9月に依頼が少ないのは一般的にお盆がある為と8月に学校関係が休みの為です。1月、12月も年末年始が入るので、当然依頼は少ないのですが、でも面白い事に世間では「ちと」と言われている2月、(8月は前述した通り少ないのですが)は私の口演依頼がなぜか多いのです。私の月口演数最高記録も2010年2月の48です。今年もありがたいことに44の依頼を頂いております。28日しかないのにです。それはなぜか?その理由を知りたかつたら私の口演に来て下さいませ。(笑)

曜日に関して言えば、まず最初に埋まるのは土曜日です。ついで日曜日。平日は金曜日、が若干多く、その他はどれも同じくらいです。そして時間帯。夏の夜には結構口演が入りますが、冬はほとんど入りません。お客様も暗く寒い中をわざわざ口演を聞きに出かける気にならないのでしょうか?でもそんなお客様も集客できるような口演をしたいと思つております。皆さんもお近くで口演がありましたら、どうぞ御足を運んで下さいませ。



## 4月7日、CD 第3弾

新CD、四月七日にNHKキャンパスホールにて収録決定！同日、夜には独演会も！！過去に自主制作した「ピーマン」たか君のCDが完売したため、新バージョンで全国版を作ることになりました。NHKのスタジオオキヤンパスホールで、四月七日(日曜)の十時半から、そして、十四時からの二回公演です。前のCDを買って頂いた方に「全く同じだった！」と言われないよう、頑張りたいと思います。今回は、会場も椅子席で、ゆったりと聞いて頂けると思いますが、ぜひ、おこしいただき、お付き合ってくださいませ。みなさんの笑い声が命です！いたるところで周知をして、一口演に二百五十人ずつ、満席に出来るよう頑張ります。そして、何とこの日は、夜七時から、同じく、スタジオオキヤンパスにて、矢野大和落語会も行わせて頂きます。久々のマラソン寄席、といった具合ですが、来て頂いたお客様には、充分楽しんで頂けるよう全力でがんばります！こちらでも入場無料ですのよ、昼間にご予約があり、夜なら行けるよ、という方も、ぜひぜひおいでくださいね！

## 話し方教室 四期生



話し方教室も、毎回、定員を上回る(六名定員)人数で進んでいます。皆様のおかげです。一昨年四月からスタートして、計二十八名の卒業生が生まれています。この四月には、四期生七名が加わり、総勢三十五名となります。四月七日の私のCD収録口演では、前座として、眞嶋さんという女性が、十分間、四期生を代表して発表して頂くことになりました。とても楽しみです。また、委員長に、佐藤さんが決まりました。この方、実は、大分で撮影された映画「綱引いちやった」に出演されてるんです。しかも、ドアップで！地元が舞台ということで、大分では、見に行かれた方も多いかと思いますが、綱引きの審判員の役です。実際、その資格をお持ちです。その映画撮影の時の裏話を、面白おかしくしゃべることが、教室ではバカ受けしています。委員長に選ばれた理由は、井上真央ちゃんと同じ空気を吸っているから：(みんな、ミハーなんです)

## 佐伯市ツアー大成功 くわしくは次号

昨年十月から募集を始めたツアーですが、一週間で定員の四十五名は満席になりました。佐伯市観光協会と話し合い、もう三十五名追加し、八十名のツアーになりました。それも満席となり、本当にありがたいことです。私が会長をしています県南落語組合の三十周年記念事業を、佐伯市観光協会と共同企画したものです。おおいだ観光特使となつた以上、県外の方々を、ぜひ、大分に、佐伯に、と願っておりましたので、本当にうれしいです。私も高座に上がつて、一席やらせて頂きました。九州各県、遠くは、島根、山口県からも来て下さいました。ありがたいことに、私が生まれた宇目町からも参加してくださいました方もいます。関係者、みんなでおもてなしさせて頂き、次につなげていきたいと張り切っております。地元の方々と仲良くなつて、市外の方々が「また来たい」と思える雰囲気の中、美味しいお寿司を召し上がっていただけただけです。詳しくは次回へ。

宿泊する人	福岡県	12名
	長崎県	8名
	熊本県	2名
	宮崎県	6名
	山口県	8名
	島根県	2名
	佐賀県	2名
日帰り	大分県 (佐伯市以外)	40名
	佐伯市内 の方々、他	56名
計		136名

## ブログに書けない ことだけの話

今年の仕事初めはトヨタの仕事始め式で、テーマは、「予定通りにいかない人生だった。本当に、その通りだと思つた。昨年暮れの衆議院選挙では、私が心底尊敬している吉良州司さん(元、外務副大臣)が落選してしまった。本当に悔しくて仕方がない。彼の姿を見てみると、申し訳ない気持ちでいっぱいになる。六年前私が出馬した参議院選挙がまたこの七月にある。しかし、今回は、立候補するようなエネルギーは、私にはない。落選した時は、これからの生活をどうしようかと悩んだりしたが、この五年間、何とかやってきた。平成二十年の一月に事務所を作り、年四百回この五年間で、二千回の口演をしたことになる。考えてみれば、一日一回は口演をしてきた計算になる。私の仕事は、大分県内だけでは立ち行かない。どうしても、県外の仕事を取らないと、年四百回もの口演はできない。私の口演を広めてくれる皆様のおかげだと、心から感謝している。どうか、今年も多くの方々に営業して頂き、口コミでさらに広げて頂き、目標達成できるような御協力頂ければ、大変、有り難いです。私の政治の師である吉良さんは、元、敏腕の商社マン。全世界を舞台に駆け回っていた方だ。政治家の夢をあきらめたとしても、世の中が、彼を放つてはおかないはずだ。吉良さんにも、捲土重来を期待する人が、全国にたくさんいるはずだ。私も、その中の一人だ。今回、落選した人たちの中には、吉良さんのように、心から惜しまれている人も多いことだろう。みんな、今後をどうやっていくのが悩んでいるだろう。人は皆、予定通りにいかない人生を歩んでいるのだと思つた。

## お宮の話 (その五) 〜鷹と不思議な体験編〜



皆さんは「鷹鳥屋神社・元宮」に行つたことがありますか？私は縁あつて矢野大和さんと知り合い、現在もごくごく近くで仕事をさせて頂いています。大和さんをはじめは「宮司」さんとは知りませんでした。そして日本人でありながら、神社の事には全く暗く、神社は宮司さんの物と思っていました。その私の常識(?)を根本から覆してくれたのが、矢野大和さんでした。神社は宮司さんのものではなく、地域の方々が先祖代々お守りし、総代さんという役員がいる事、任期で代わつていく事。神社は信者、氏子の人達の寄付

で運営している事。そういえば、実家の近くの神社がお祭りをする際、地域の役員の方が一口何円という寄付を募っていたのを思い出しました。(私の実家は秋田県湯上市という所にあります) そんな私ですが、大和さん一から神社の事を学ばせて頂き、次第に神社の事に興味をもつていきました。そして大和さんの話を聞いているうちに、是非大分県内でもパワースポットして有名な「鷹鳥屋神社・元宮」に行つてみたい、また宇目町を探訪してみたくなりました。

10月31日、友人3人を誘い知人に世話して頂き宇目緑豊中学を見学、トトロのバス停近くでシカ肉のハヤシライスを堪能した後、「鷹鳥屋神社」に向かったのです。時間は2時半を過ぎていました。国道326号線に設置してある「鷹鳥屋神社」の看板通り、鷹鳥屋山へ向かう道に入ります。道沿いに車を走らせましたが、暫く行くと分岐点に出ました。左の矢印の先に「真弓」、藤河内渓谷」の文字。ためらいながら右に進みました。段々と狭くなる山道。もし対向車が来ても絶対にすれ違えない程狭い道です。とうとう「左 行き止まり、右 私有地につき立ち入り禁止」の文字が・・・折り返すしかありません。とても狭い道路で、車を回転させるのも一苦労です。「こんなところで死にたくない！」と友達に揶揄されながら「ごめん、でもどうしても行きたい。」と必死に車を回転させる私。と、その頃から私達の頭上3m程の所に大きな鷹のような鳥がくるくると旋回し始めていたのです。その時は



車を引き返すことに夢中で、あまり気にとめていなかったのですが例の分岐点の所まで戻つて来た時、スーツとまた鷹が現われて今度は頭上遙か上を優雅に飛んでいるのです。「鷹がさっきから車の前を行つてるね。先導しているのかしら？」などとその時は冗談交じりで笑いながら車を進めました。大きな川に差し掛かり、「時間橋」を渡る時も、鷹が前を飛んで行くのが見えます。橋を渡り切った時、又分岐点があります。「左 レストランウメリア」「右 真弓」。「鷹鳥屋神社」なんて文字はどこにもありません。暫く立ち往生していましたら、又又鷹が現われ右の方に飛んで行くではありませんか。その時私は確信しました。間違いありません、私達を案内しているのです。一緒にいた友達はその奇遇さに鳥肌が立っていました。(笑) しかも道沿いには「鷹鳥屋神社」の看板は一枚も無いのです。途中の「真弓」という地名は家が3軒ほどの携帯の電波も届

かないような地区でした。「鷹鳥屋神社」はそんな道を登つた山の頂上にあります。私達が道に迷わなくなつた頃、鷹はいつの間にかいなくなつていました。神社への参道はひっそりしていますが、掃き清められていて、門徒さん方の信仰心の強さがわかります。境内には樹齢何百年という杉や桧が雄大に聳え立つており、悠久の時を感じさせてくれる空間です。樹のパワー、神聖な気を感じながら登つて行き本殿前に立つと、何とそこには先程私達を案内してくれた鷹が座っているではありませんか。私も鳥肌が立ちました。(笑) そして思わずお礼を言いました。「鷹鳥屋神社」を守っているのは「狛犬」ではなく「鷹」なのです。その日來れた事、不思議な体験をし神聖なパワーを頂いたこと、に感謝しながらお参りし「鷹鳥屋神社」を後にしました。次は絶対に午前中に来ることを心に誓つて！。

文 岡嶋妙子

